



ひろしま遊学の森 広島県緑化センターメールマガジン VOL. 357 H30. 3. 26

春分を迎え、園内ではたくさんの花が見られるようになりました。早咲きのサクラも咲きはじめました。野鳥ではウグイスやイカルなどがさえずり始めています。

★さくら情報

河津桜（カワツザクラ）（写真1左）

カンヒザクラとオオシマザクラの雑種で1960年に静岡県河津町で偶然発見された品種です。3月中旬から淡紅色の花を咲かせます。

場所：第5駐車場向かい展望広場

大寒桜（オオカンザクラ）（写真1右）

カンヒザクラとオオシマザクラの種間雑種と考えられる品種で安行寒桜とも呼ばれます。淡紅色の花弁は丸みを帯びて大きく、先端に細かい切れ込みが入ります。樹高10mで広がりのある樹形になります。

場所：第5駐車場

★その他の見どころ情報

ハナノキ（花の木）ムクロジ科カエデ属（写真2左上）

木曾川流域に自生する落葉高木で、秋の紅葉が有名ですが、春の赤い小さな花もまた違う美しさがあります。一斉に開花して落花するため、花を楽しめるのは4、5日程度です。

場所：県木の森入口

タムシバ（嘯柴）モクレン科モクレン属（写真2右上）

公園や街路樹に多いコブシの仲間、別名ニオイコブシとも呼ばれます。一昨年に見事に山を彩った景色はみなさんの記憶にも残っているのではないのでしょうか。その代わり、昨年はほとんど花がありませんでした。今年は多くなりそうです。

場所：浄水場前 他山林内

ダンコウバイ（檀香梅）クスノキ科クロモジ属（写真2左下）

落葉樹林内や林縁に生える落葉低木で、花序は約1.5cmと同属では最も大きく、香りも強いです。ウコンバナやシロジシャという名でも呼ばれ、ダンコウバイの名はトウロウバイの漢名で明治時代に本種の和名に転用されたものです。クスノキ科クロモジ属の花は、園内では最初にアブラチャンが咲き、続いてダンコウバイ、クロモジ、シロモジ、そしてカナクギノキの順に開花します。

場所：管理事務所上三叉路少し上他

サンシュユ（山茱萸）ミズキ科サンシュユ属（写真3左上）

中国、朝鮮半島原産の落葉低木で江戸時代享保年間に薬用植物として渡来しました。赤く熟す果実を乾燥させて薬用とします。牧野富太郎博士が提唱したハルコガネバナの名の通り、3~4月、葉の展開前に黄色い鮮やかな花を咲かせます。

場所：多目的広場

※園内の見どころ情報はツイッター及びインスタグラムでも確認できます。

ツイッターアカウント名： @Ryokkacenter <https://twitter.com/ryokkacenter>

インスタグラムアカウント名： kanriryokka <https://www.instagram.com/kanriryokka/>

フォローよろしくお願いします。

園内の開花情報や野鳥等の写真を随時掲載していきます。ぜひご利用ください。



写真1左 河津桜（展望広場） H30.3.24



写真1右 大寒桜（第5駐車場） H30.3.24



写真2左上 ハナノキ (倶木の森入口) H30.3.25



写真2右上 タムシバ (浄水場前) H30.3.25



写真2左下 ダンコウバイ (倶木の森入口下) H30.3.24



写真2右下 キブシ (中水池下) H30.3.26



写真3左上 サンシュユ (多目的広場) H30.3.25



写真3右上 ミツマタ (管理事務所前) H30.3.24



写真3左下 トサズキ (車庫裏) H30.3.24



写真3右下 ヒュウガズキ (車庫裏) H30.3.24